

平成22年9月9日
於
府中市立教育センター

平成22年第9回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成22年第9回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成22年9月9日(木)
午後1時32分
閉 会 平成22年9月9日(木)
午後2時35分
- 2 会議録署名員
委 員 北 島 章 雄
委 員 糸 満 純一郎
- 3 出席委員
委員長 久 芳 美恵子 委員長職務代理者 崎 山 弘
委 員 谷 合 隆 一 委 員 北 島 章 雄
教育長 糸 満 純一郎
- 4 欠席委員
な し
- 5 出席説明員
教育部長 高 橋 脩 二 文化スポーツ部長 齋 田 文 雄
教育部参事 田 中 陽 子 文化振興課長 英 太 郎
兼学務保健課長 兼文化財担当主幹
教育部副参事 小 椋 孝 文化財担当副主幹 江 口 桂
兼指導室長 兼市史編纂担当副主幹
総務課長 吉 野 寿 一 生涯学習スポーツ課長 澁 谷 智
総務課長補佐 月 岡 敏 浩 生涯学習推進担当副主幹 山 村 仁 志
兼学校耐震化等推進担当副主幹
学務保健課長補佐 中 村 孝 一
給食担当副主幹 須 恵 正 之
指導室長補佐 桑 田 浩
指導室副主幹 新 藤 純 也
統括指導主事 金 子 真 吾
指導主事 長 井 満 敏
指導主事 国 富 尊
指導主事 小野満 賢
指導主事 大 津 嘉 則
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 田 中 啓 信
総務課主任 山 本 正 芳

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 報告・連絡

- (1) 平成22年度日光林間学校実施結果について
- (2) 給食展・大試食会の開催について
- (3) 平成22年度「府中の教育を語る会」実施案について
- (4) 府中市郷土の森博物館における指定管理者候補者選定会議について
- (5) 第53回府中市民体育大会秋季大会の開催について
- (6) 第17回府中市生涯学習フェスティバルの開催について
- (7) 府中の森芸術劇場リニューアル記念ワークショップ
「こどもサイエンス～手づくり工作を楽しもう Part 2」の開催について
- (8) 第14回みんなのスポーツ day の開催について
- (9) 第25回府中市青少年音楽祭について

第4 その他

第5 教育委員報告

午後1時32分開会

○委員長（久芳美恵子君） ただいまより、平成22年第9回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日の会議録署名員は、北島委員と糸満委員にお願いします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 傍聴希望者がおりますが、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

_____ ◇ _____

◎平成22年度日光林間学校実施結果について

○委員長（久芳美恵子君） 本日は、議案の審議はございません。報告・連絡から始めさせていただきます。

報告・連絡の1番について、学務保健課をお願いします。

○学務保健課長補佐（中村孝一君） 資料1に基づきまして、平成22年度の日光林間学校実施結果についてご説明申し上げます。

小学校全校22校で、6年生を対象に、7月23日から8月10日の間に実施いたしました。

参加人数は2,131人で、在籍数2,161人に対しまして98.6%の参加率となりました。不参加の理由といたしましては、出発当日の体調不良が16名と一番多く、不登校が3名、家庭の事情による者が4名、出席停止の者が1名、その他で6名でございます。

ページをお開きください。保健室の利用状況でございますが、詳細につきましては表のとおりでございます。22校で323人の利用がございました。平均いたしますと14.7人でございます。そのうち7人が感冒、発熱、打撲等により日光市民病院と奥日光診療所で治療を受けました。昨年度は新型インフルエンザの対応に苦慮したところでございますが、今年度は大きな事故等もなく、22校無事終了することができました。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。無事終了したとのこと、関係者の皆さまのご努力、本当に感謝いたします。

何かご質問、ご意見ございますか。

○委員（北島章雄君） 参加できなかった方の中で「家庭の事情」というのがございましたが、これは金銭的なものなのでしょうか。

○学務保健課長補佐（中村孝一君） 家庭の事情の内容につきましては、今この場に資料がございません。後ほど回答させていただきます。

○委員長（久芳美恵子君） お願いいたします。

そのほかいかがでございましょうか。

参加率の大変高い行事でございますが、一昨年ですか、日光のお宿の社長さんからチラッと伺ったことでは、保護者の中で同じホテルに泊まらせてほしいとか、また、同じホテルではなくても、近隣のところに泊まってお子さんの様子を陰ながら見ていらしたとかという方がい

らっしゃるというようなことを伺いましたけれども、そのような話は、今年度は何かお耳になさいましたでしょうか。

○学務保健課長補佐（中村孝一君） 今年、特にそういった話は聞いておりません。

○委員長（久芳美恵子君） わかりました。ありがとうございます。親離れはさっさとする子がほとんどですけれども、子離れはなかなか難しいですね。

ほかにご質問、ご意見はよろしいですか。

それでは、連絡・報告の1番について了承いたします。



◎給食展・大試食会の開催について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡の2番について、学務保健課お願いします。

○給食担当副主幹（須恵正之君） 給食展・大試食会の開催について、資料2とチラシに基づき説明いたします。

1の趣旨ですが、本事業は、給食センターで提供している「安全でおいしい給食」について、より多くの保護者や市民に試食や体験をしていただくことにより、学校給食について理解を広め、食への興味や関心を深めるため実施するものでございます。

2の日時でございますが、平成22年10月23日（土）午前10時から午後3時まで。大試食会は午前11時から午後2時でございます。

3の場所でございますが、府中市立第一・第二学校給食センターでございます。

4の内容は次のとおりでございますが、(1)の大試食会の今年度の献立は、チラシにありますとおり、「チキングラタン」と「ビビンバ」の献立2種類を1食100円で、各750食、合計1,500食を提供いたします。当日の混雑を緩和するため、10月16日（土）午前10時から試食券の前売りを市政情報センターで行います。

5の周知でございますが、市民への周知は、10月11日発行の広報ふちゅうに記事掲載いたします。また、市立小・中学校の児童・生徒、保護者へはチラシの配布、各文化センター、市内幼稚園、保育所にはポスター掲示を行います。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。大試食会の開催についてでございますが、何かご質問、ご意見ございますか。

去年はインフルエンザの関係でだいぶ縮小したようでございますが、カードバイキングであるとかカルタとスタンプラリーとかは、今年また復活した部分でございますか。

○給食担当副主幹（須恵正之君） カードバイキングにつきましては、昨年も同様に行っております。今回行わせていただく中では、カルタとスタンプラリーが、子どもたちのためにということで新たに行わせていただくようになっています。

○委員長（久芳美恵子君） それと、これも確認になりますが、何回か前に体調を崩された方がいらっしゃいましたね。今年はそういう方々のために、どなたが待機をなさっていらっしゃるのでしょうか。

○給食担当副主幹（須恵正之君） 開催中につきましては、看護師の方を補充していただくように手配しております。

○委員長（久芳美恵子君） どうぞよろしくお願いいたします。

ほかにご質問、ご意見ございますか。

毎年好評で1,500食は即売り切れになってしまうのではなかろうかと思えますけれども、特にご質問等なければ、報告・連絡の2番について了承いたします。



◎平成22年度「府中の教育を語る会」実施案について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡の3番について、指導室お願いします。

○統括指導主事（金子真吾君） 平成22年度「府中の教育を語る会」実施案について、ご報告申し上げます。

目的といたしましては、「東京都教育の日」の一環として、府中市においても、市民の教育に対する関心を高め、子どもたちの教育について、保護者、地域、学校、教育委員会が共に考える機会として「府中の教育を語る会」を実施いたします。

日時、会場といたしましては、11月6日（土）、会場は府中市生涯学習センター講堂、時間は午後2時から4時半までを予定しております。

また、ポスター掲示発表といたしまして、11月6日（土）から11月13日（土）、府中市役所1階市民談話室を予定しております。

内容といたしましては、昨年度も環境をテーマにいたしましたのが、本年度においても「続けよう！環境エコ」をテーマとして、小学校3校、中学校1校、また市民の環境保全に係わる団体の方を1団体、計5グループの発表を中心に行います。

また、それらの発表内容を踏まえまして、東京農工大学大学院の降旗信一先生から、講評と講演を賜ります。

また、ポスター等の各学校の取り組みについては、この発表校以外にも33校すべてが提案するというようになっております。

参加予定者は、児童・生徒、保護者、学校関係者及び青少年健全育成関係の皆さまにお知らせいたします。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。「府中の教育を語る会」実施案でございます。何かご質問、ご意見ございますか。

昨年も小学校、中学校から代表して発表があったと思うのですが、環境保全の活動に係わっていらっしゃる市民の団体というのは、去年もありましたか。

○統括指導主事（金子真吾君） 今回は、学校以外にも、子どもたちが環境エコを継続するために、お手本となるような活動をしていらっしゃる団体の方を検討しております。

○委員長（久芳美恵子君） そうすると、今年初めてということですか。

○統括指導主事（金子真吾君） はい。

○委員長（久芳美恵子君） わかりました。学校だけで完結しないで、地域も含めてということでございますね。

ポスターもそれぞれ学校の特色があつてよかったなと思いましたが、今年も33校全校でお出しいただけるということでございます。

いかがですか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡の3番について了承いたします。

◇

◎府中市郷土の森博物館における指定管理者候補者選定会議について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡の4番について、文化振興課お願いします。

○文化財担当副主幹兼市史編纂担当副主幹（江口 桂君） 文化振興課から、府中市郷土の森博物館における指定管理者候補者選定会議について、別紙資料4に基づきご報告いたします。

郷土の森博物館につきましては、平成18年度から指定管理者制度を導入し、本年度、最初の指定管理期間を終えようとしております。この5年間は、財団法人府中文化振興財団を指定管理者として指定してまいりましたが、長年にわたる当該施設の管理運営に関する知識、経験を生かし、市民とともに育む博物館として、市内外から年間30万人を超える入場者を数え、都内でも有数の総合博物館に成長してきたと思います。

平成23年度からの5年間も引き続き指定管理者制度を導入することとし、新たな指定管理者候補者を選定するに当たって、選定の透明性に配慮し、指定管理者候補者選定会議を設置いたしましたので、ご報告するものでございます。

選定会議は、府中市郷土の森博物館における指定管理者候補者選定会議設置要綱に基づき、学識経験者2名、公募市民1名、市職員2名の計5名で構成され、任期は平成22年8月5日から所掌事務が完了する日までとなっております。

今後の予定でございますが、10月7日開催予定の第2回選定会議におきまして現地視察を行った上で、選定会議としての指定管理者候補者の選定の可否を決定し、10月開催予定の教育委員会定例会におきまして、平成23年度から5年間の指定管理者候補者の選定についてお諮りしてまいりたいと考えております。

なお、教育委員会で決定した後につきましては、第4回市議会定例会へ指定管理者候補者の選定議案を提出する予定となっております。

以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。府中市郷土の森博物館における指定管理者候補者の選定会議の委員でございますね。5名の方、学識経験者の方が2名、公募市民の方が1名、そして市の職員から2名ということでございますが、何かご質問、ご意見ございますか。

○委員（糸満純一郎君） 私もわかりませんし、ほかの委員さんにもわかりやすくご説明いただくために、ちょっとお尋ねします。

文化振興財団は本当に非常によくやってくれているなという実感がございます。施設によっては、選考を経ないでそのまま指定するケースと、それから、この博物館は指定管理者の候補の選定会議を設けるといことのようにすけれども、その辺の違いといいますか、基準といいますか、例えばルミエール府中（市民会館）とかあると思うのですけれども、その辺の基準というか考え方はどうなっているのか、ご説明いただければと思います。

○文化財担当副主幹兼市史編纂担当副主幹（江口 桂君） 選定基準につきましては、「府中市公の施設における指定管理者制度に関する運用指針」がございまして、すべての指定管理者を導入している施設については、選定会議を設置し、そこで選定を行っていくということによって決まっておりますので、例えば、同じ文化振興財団が指定管理者となっております芸術劇場、グリーンプラザ、市民会館につきましても、同様に選定会議を設置し、現在、選定会議でご審議をいただいているところでございます。

○委員長（久芳美恵子君） 指定管理者に立候補というか、なりたいという団体は、いつまでに申告というか、書類を出したりするというのは、日程的には決まっていると思うのですが、ちょっと教えていただければと思います。

○文化財担当副主幹兼市史編纂担当副主幹（江口 桂君） 既に本市におきましては、次期指定管理者候補者につきましては、非公募という形で現在進めておりまして、公募によらない選定ということで、財団法人府中文化振興財団から次期指定管理者についての申請を既にいただいているところでございます。こちらにつきましては、郷土の森博物館以外のグリーンプラザ、劇場についても同じような申請を既に府中文化振興財団からいただいております。

○委員長（久芳美恵子君） 非公募ということは、今、指定管理者である財団法人の運営が、市としては非常に適切であるという判断に基づいて、わざわざ公募をしないという判断でよろしいですか。

○文化財担当副主幹兼市史編纂担当副主幹（江口 桂君） はい。

○委員長（久芳美恵子君） いかがですか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡の4番について了承いたします。



◎第53回府中市民体育大会秋季大会の開催について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡の5番について、生涯学習スポーツ課お願いします。

○生涯学習スポーツ課長（澁谷 智君） 第53回府中市民体育大会秋季大会につきまして、お手元の資料5の実施要項に基づきましてご説明いたします。

この大会は、市とNPO法人府中市体育協会が主催いたしまして、体育協会に所属いたします各連盟が主管し、9月19日から11月7日までの期間にわたりまして開催いたします。

出場資格は、市内在住または在学・在勤で、野球競技の4,381人をはじめといたしまして、昨年より同時期で400人ほど多い1万6,820人の応募をいただいております。

競技種目といたしましては、陸上競技など28競技種目を予定しており、主に市内の施設を利用いたします。

なお、教育委員の皆さまには、9月19日（日）陸上競技場で午前9時20分から行われます開会式式典につきましてご案内を差し上げているところでございますが、NPO法人日本ダブルダッチ協会による実技と東京農業大学応援部の公開演技もございますので、お時間の許す限りご列席をお願いいたします。

以上です。よろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。第53回府中市民体育大会秋季大会の実施要項でございます。何かご質問、ご意見ございますか。

野球が4,381人という非常に大人数で、昨年もやはり野球人口が多いのだなというように観戦していて思いましたけれども、野球の次は何でしょうか。もしおわかりでしたら。

○生涯学習スポーツ課長（澁谷 智君） 野球の次はテニスの2,255人で、続きましてサッカーが2,240人の応募をいただいております。

○委員長（久芳美恵子君） なるほど。大変な競技人口でございますね。競技によっては、ユニフォームもこうしなければならないとか、細かく決まっていたりするようでございますが、実施要項についていかがでしょうか。特にご質問等はございませんか。

大変大きな大会でございますので、本当にけがのなきよう無事に終わってほしいなと思います。ぜひ皆さまが元気よく活躍していただけるとよいと思います。

それでは、報告・連絡の5番について了承いたします。



◎第17回府中市生涯学習フェスティバルの開催について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡の6番について、生涯学習スポーツ課お願いします。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） 生涯学習スポーツ課から、生涯学習フェスティバルについて報告いたします。

第17回府中市生涯学習フェスティバルは、市民の生涯学習の啓発と市民の生涯学習成果の発表を目的に毎年開催しており、平成5年の学習センターの開館以来、今年で17回目を迎えます。

公募を含む市民の実行委員会を設立し、企画段階から市民との協働で運営しておりまして、「みんなでつくろう ひろがる出会いと学びの輪」をキャッチフレーズとして開催するものです。

期間は、9月10日（金）から12日（日）の3日間で、生涯学習センターの地下から3階まで、前庭やレストラン、体育館も含めまして、全館が会場になっております。

内容につきましては、元日本銀行理事の松島正之氏をお迎えして、講堂で特別講演会「国際化時代の日本経済の課題」を開催するほか、こどもサイエンス、立体テレビ、市民作品展、ワークショップ、市民発表会、サウンドフェスティバル、そして体育館での体力測定やニュースポーツ体験など、多くの市内の学習グループ、そして多くの市民の日頃の生涯学習の成果を発表いたします。

黄色のチラシは、こどもサイエンスのワークショップと、裏面に立体テレビアニメスタジオの内容が掲載してあります。学び返しを通じた地域の教育力に接する年に一度のチャンスですので、この機会にぜひご覧いただきたいと思います。

以上で終わります。

○委員長（久芳美恵子君） 生涯学習フェスティバルの報告でございます。何かご質問、ご意見ありますか。

○委員（谷合隆一君） この企画と申しますか、明日から3日間行われるということで、今日ここで資料が出てきても、意見を申し上げても、変えることもなかなか難しいと思うのですが、8月の定例会には、このチラシなり企画なりはできてなかったということでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） このチラシにつきましては、1カ月前ということなので、定例会のときにはまだできておりませんでした。失礼いたしました。

○委員（谷合隆一君） 連絡・報告事項で出てくることですし、17回目ということで特に大きな変化がなければ、さほど問題や課題はないのだと思いますが、やはりこういう会議に出す場合は、1カ月前と申しますか、早めに出していただくことによって皆さんの意見を反映できるのではないかと思います。この内容については特にはないですけれども、会議の進め方として要望いたします。

○委員長（久芳美恵子君） できるだけそういう形で、よろしく願いいたします。

ここは交通の便があまりよくないので、例えばちゅうバスの運行回数を増やすとか、そうい

う配慮というのがあるのかないのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） 毎年、ちゅうバスにつきまして市民の皆さんの要望が多いので、市を通しまして京王のほうに要請しているところなのですが、なかなか難しいということをお願いしております、このフェスティバルのために特別にということは今までやっておりませんでしたので、それを含めて今後検討していきたいと思っております。

○委員長（久芳美恵子君） よろしく願いいたします。

ほかにはよろしいですか。

それでは、明日からの3日間、盛況のうちに皆さんが学び返しのいろいろな作品展等を楽しんでいただけますように。

報告・連絡の6番について了承いたします。



◎府中の森芸術劇場リニューアル記念ワークショップ

「こどもサイエンス～手づくり工作を楽しもう Part 2～」の開催について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡の7番について、生涯学習スポーツ課お願いします。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） ピンク色のチラシ、資料7、府中の森芸術劇場リニューアル記念ワークショップ「こどもサイエンス～手づくり工作を楽しもう Part 2～」をご覧ください。

9月18日（土）府中の森公園近くに、芸術劇場、美術館、学習センターがございますが、その劇場のリニューアルを記念して、学習センターでも「こどもサイエンス Part 2」を開催します。のぼり虫、コムギンなど記載のワークショップを用意し、科学体験クラブや生涯学習ボランティア「悠学の会」の方々のご協力で、無料で子どもたちの制作を指導しご案内いたします。小学生を対象に楽しみながら科学原理を学べる内容となっております。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） 府中の森芸術劇場リニューアル記念ワークショップ「こどもサイエンス」でございますが、何かご質問、ご意見ございますか。

この「こどもサイエンス」のワークショップがあるということは、学校を通じて子どもたちに周知していただいていることでございますね。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） はい。

○委員長（久芳美恵子君） ぜひたくさんのお子どもに来てほしいと思います。

特に皆さんご意見がないようですので、報告・連絡の7番について了承いたします。



◎第14回みんなのスポーツ day の開催について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡の8番について、生涯学習スポーツ課お願いします。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） 第14回みんなのスポーツ day の開催について報告いたします。お手元のクリーム色のチラシ、資料8をご覧ください。

10月11日（祝）「体育の日」の日にあわせて、各地域体育館を無料開放し、市民がスポーツに親しむきっかけとなるよう、それぞれニュースポーツの機会を提供し、また特別企画を開催するものです。

チラシの裏面をご覧ください。各地域体育館6館、本宿、四谷、栄町、日吉、押立、白糸台

で、記載のとおり午前と午後にわたり、ラリーテニス、バドミントン等を実際に体験していただくとともに、特別企画として、それぞれ日本ダブルダッチ協会、東京女子体育大学、東京農工大学、東京外国語大学、明星大学、F C東京サッカー、バレーボール、また第十小学校の和太鼓を含めまして、皆さんにご協力いただきまして、そのプレーや演技をご披露いただきます。

この企画は、体育指導委員の皆さんが主管、各地域体育館の運営協議会の皆さんに協力していただき、会議を重ねて準備して開催するものです。先ほどの2つのものにつきましては、既にチラシ等、小学校、中学校、各施設に配布しておりますが、このみんなのスポーツ day につきましては、これから配布させていただきます。秋の体育の日の一日、一人でも多くの市民の皆さまにご参加いただけますよう、さらに周知してまいりたいと思います。

以上で生涯学習スポーツ課の報告を終わります。

○委員長（久芳美恵子君） 第14回みんなのスポーツ day の開催についてのご説明でございました。何かご質問、ご意見ございますか。

それぞれの体育館でいろいろな企画があって、大変楽しそうでございますね。ちなみに昨年は何人ぐらいの市民の方がご参加くださったのでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） 昨年は、残念ながらインフルエンザの影響で、学級閉鎖、学年閉鎖、学校閉鎖の学校が半数を超えていたものですから中止にしましたが、例年、3,000人以上参加していただいております。

○委員長（久芳美恵子君） 子どもたちだけでなく、家族で楽しむこともできると思いますので、それぞれの企画をしてくださった指導員の皆さま、各体育館の関係者の皆さま、本当にご苦労さまでございます。皆さんが楽しんでいただけるとよいと思います。

それでは、報告・連絡の8番について了承いたします。



◎第25回府中市青少年音楽祭について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡の9番について、文化振興課お願いします。

○文化振興課長兼文化財担当主幹（英 太郎君） 第25回府中市青少年音楽祭開催についてご報告いたします。お手元の資料9をご覧ください。

例年、夏休み最後の土日に開催してまいりました青少年音楽祭でございますが、今年は府中の森芸術劇場の改修工事のため時期をずらし、10月2日（土）、3日（日）に開催をいたします。10月2日（土）は合奏の部、午前と午後に分かれまして、10時開演、また2時開演となります。10月3日（日）は合唱の部で、午後1時開演となります。会場はどりーむホールで、入場は無料でございます。

裏面をご覧ください。市内の小・中学校を中心といたしまして、計28団体が出場いたします。

以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。こちらも府中の森芸術劇場のリニューアルがございまして、10月2日、3日の開催でございます。合奏の部と合唱の部に分かれております。それは例年どおりでございますね。

○文化振興課長兼文化財担当主幹（英 太郎君） はい。

○委員長（久芳美恵子君） 何かご質問、ご意見ございますか。

今年は出演していただく団体が28というように今伺いましたけれども、例年、大体どのくら

いの数でございましたでしょうか。

○文化振興課長兼文化財担当主幹（英 太郎君） 例年ほぼ同じ出場団体でございます。昨年度と同じ団体に今年も出場していただいております。

○委員長（久芳美恵子君） もちろん毎年出ていただくというのは望ましいところでございますが、また新しいところが出てくれるというのも楽しいものですよね。小さいお子さんであってもいいし、また、保護者の方たちでもいいし、市民の方たちでもいいし、ぜひ、「青少年」と書いてあるから、中年以上はなかなか難しいかもしれませんが、ぜひ新しい団体の方も加わってくださいますよう、宣伝のほうをまた来年度に向けてよろしくお願いいたします。

○委員（谷合隆一君） 出場チームの中に、第四小の「ハーモニーブリーズ」の名前がないのですけれども、今年はないのでしょうか。

○文化振興課長兼文化財担当主幹（英 太郎君） 第四小の「ハーモニーブリーズ」につきましては、ご出演の予定はございません。

○委員長（久芳美恵子君） 何ほかにいかがでしょうか。

ご意見等ございませんようですので、報告・連絡の9番について了承いたします。

その他、何かございますか。

ないようでしたら、教育委員報告に移ります。



◎教育委員報告

○委員長（久芳美恵子君） 教育委員報告をお願いします。

○委員（谷合隆一君） 谷合から報告します。

8月24日、用務員さんの実務研修ということで、私の本業であります塗装につきまして、用務員さん二十数名に参加していただきまして研修をいたしました。場所は住吉小学校をお借りいたしまして、教室で講義と、あと廊下の壁を実際に塗装したのですが、用務員の皆さんは建物のことを毎日気にかけてくださっているので大変関心が高くて、話をしている、説明をしながら実際に作業をしても、非常に熱心に取り組んでおりました。市といいますか教育委員会の予算に余裕があれば、どんな小さなことでも専門業者に頼んでしまえばそれで済んでしまうことなのですが、無駄な費用をかけずにできることはやるということも大事なことだと思います。建物も子どもと同じで、手をかければかけるほど愛着が湧いてきますので、大切に使うようになりますから、用務員さんに限らず、学校では先生や児童・生徒、家庭では親が子どもを巻き込んで、自分たちで使う施設ですとか家に手をかけるということも、一つの大事な教育だと思います。こういった人に教えるという立場も、また自分も大変勉強させられるので、なかなか自分にとっても大変いい機会だったなと思いました。

8月26日、これは教育委員としてはではないですが、青少対第三地区の委員として、夏休みの後期の地区パトロールに行きました。第三地区ということで、第三中学校学区を自転車で夜の9時から1時間ほど、若者たちが集まりそうな公園ですとかコンビニなどを回ったのですが、誰もいなかったですね。昼間は暑いですが、夜も暑いので、たぶん誰も出てこないのだろうというような感じで、何もなくてももちろんいいことなのですが、全く人影もないような感じで、ちょっと寂しい気も半分いたしました。

8月29日、先ほど秋季大会のご案内がありましたけれども、市民体育大会の夏季大会開会

式に出席いたしまして、水泳競技会、幾つかの競技を観戦してまいりました。今年の夏は本当に毎日暑かったので、この日が特別にということではないのですが、プールサイドに長い時間いるということが自分にとっては特別なことだったので、私に限らずですけれども、開会式に出席する方々ですとか、あとスタンドに応援に来ている方々、水着姿でない人たちは本当に暑かったと思います。そんな中で、例年以上に日焼けした選手たちは、元気に水しぶきを上げて記録に挑戦しておりました。長くそこにいられなかったものですから、最後までいられなかったものですから、この日、すばらしい記録が出たのかもわかりませんが、後ほど教えていただければ大変うれしいと思います。

私からは以上でございます。

○委員(崎山 弘君) 崎山から報告いたします。

いつも教育委員に各学校が発行している「学校だより」をお届けいただいているわけですが、今回受け取った学校だよりの中で、何校かの文面に「耐震工事がまだ終わっていない」という記載が見られました。そこで、武蔵台小学校と第七中学校の状況を9月7日(火)にちょっと拝見してまいりました。

武蔵台小学校では、校舎本体の工事は終了しており、騒音等特別な状況は見られませんでした。いずれは慣れてしまうでしょうけれども、以前より壁が厚くなったために、廊下を歩くと何か圧迫感があったり、あるいは校長室と職員室との間に扉があったのですが、それが壁になってしまったのがちょっと残念に思える程度でした。

次に伺った第七中学校では、工事の遅れが、かなり先生方と生徒に負担になっているように見受けられました。

今資料をお配りしました。第七中の校舎は、概ね東西方向に直線的な校舎で、廊下の南側に一般教室が配置されています。北側に階段、トイレ、水道などの手洗い場、あるいは一部特別教室が配置されています。第七中の耐震工事では、下の図に斜線で示しましたが、廊下の北側の窓、手洗い場に相当する部分に、工事スペースを確保するために、床から天井まで、まだ板囲いが残っているので、廊下北側の窓がすっかりふさがった状態です。廊下の幅も通常の半分以下に狭められており、給食の配膳車がやっと通れる狭さです。そのために廊下の通気が極めて悪く、例年のない残暑の影響もあると思うのですけれども、教室はかなり高温になっていました。

自分も実は温度計と湿度計を持っていったので測ってみようと思っていたら、実は養護の先生もおかしいと思っていたみたいで、9月1日と6日に測ってくださってあるということなので、そのデータをもらってきたのが左の数字です。上が9月1日(水)午前9時30分から45分の間に各教室で測った気温と湿度と、不快指数まで計算してありました。1日は始業式ですが、朝9時半の段階で、もう34度、33度ということになります。9月6日(月)、一番日中で暑いのは午後2時ごろと言われているのですけれども、その近辺で測った気温が、教室で33度から32度、湿度もかなり高く、不快指数でいうと75%から79%、かなり多くの方が不快と感じるようなデータです。

この不快指数というのは、実は今はあまり天気予報でも使われなくなりました。なぜかという、これは温度と湿度だけから計算するので、皆さんも体感してわかると思いますけれども、風があると楽なんですね。同じ気温、同じ湿度であっても、風が流れていると少し心地よく感じるのです、その要素が含まれてないので、不快指数という言葉は最近気象庁でも使わなくなったので

すね。ですから、風があればまだいいのです。ところが、先ほど説明しましたように、教室の廊下側のドアを開けばなしにしても、廊下が狭いために空気が流れないのですね。たとえ窓を開けておいても空気が流れないという状況で、かなり蒸し暑く感じるという状況でした。それで、苦肉の策として、体育館の大きな扇風機、あれ1台しかないのですが持ってきてあって、廊下の狭まっているところの端っこに1台置いてありましたけれども、それが少しはましかもしれませんが、とにかく空気が流れないという状況でした。

実際、生徒に聞くと、先生はそれでも私服ですから涼しそうな服装をしているけれども、生徒は制服なのでかなり暑くてしょうがない、体操着で過ごしていたいなどという声も聞かれました。学校も水筒持参を許可しているなどの対応をとってはいるのですけれども、皆さんもご存じかもしれませんが、水分を幾ら摂って汗をかいても、風がないと汗は乾かないのですね。だから、結局、熱中症になるのですよ。風がないとだめなのです。よく体育のスポーツの指導で間違っているのは、炎天下で野球をやっている人は、水分を飲み、水分を飲みといっても、今年みたいな状況だと、炎天下で風がないと、幾ら水分を飲んでも熱中症になるのですね。ですから、風が流れないというのは非常に問題ではないかなと思います。

また、授業中であるにもかかわらず、ドリルを使用しているような騒音も聞かれました。工事は9月下旬まで続くと言われているのですけれども、なぜ工事が遅れているのか。遅れていることをいつの時点で把握できたのか。9月になった段階で残暑が厳しいことが十分予想できたのですから、何か対応がとれなかったのか。あるいは、音が出る工事は放課後に徹底できないのか。あるいは、大型の扇風機をレンタルするなど換気に十分対応できるようなものができなかったかなど、第七中学校においては、いろいろ疑問に感じるような状況だったことをご報告いたします。以上です。

○委員（北島章雄君） 北島よりご報告させていただきます。

8月22日、府中市総合防災訓練に参加いたしました。場所は、避難所運営訓練が第八中学校の体育館、そして応急対策訓練が四谷小学校の校庭で行われました。

私は四谷小学校の校庭に参りまして、救出・救助訓練とか、初期消火訓練とか、応急救護訓練に参加いたしました。今、府中市の中学校が緊急避難場所になっておりますので、校長先生がお見えになっていたのですけれども、他の先生方がお見えになっていたかどうかちょっと確認しなかったのですけれども、府中市の近隣の方々が大量にいらしてございまして、一生懸命参加してやっておりました。

その中で、府中の消防少年団というのがありまして、小学校6年生から中学校3年生までの方々がその場にいらして、初期消火の訓練をなさっていました。可搬ポンプでD級ポンプと言うのですか、簡易なポンプでホースを延ばして、燃えている小屋に放水をしておりました。消防少年団というのは、府中市の消防署が市内の小学生、中学生を募ってやっている団と聞いております。非常に規律よくやっていたので、格好いいなと感じました。

8月26日（木）、平成22年度東京都町村教育委員連合会第2回理事会に参加いたしました。東京自治会館で行われました。議題は、平成22年度研修会の実施計画について、その他ということで、案がそのまま通ったということでございました。講演は、東京都多摩教育事務所指導課長の小林幹夫さんが「今の子ども達の現状とこれからの学校教育」について講演なさいました。今の子ども達の現状ということで、東京都の教育というのか、全国の学習指導状況調査

と児童・生徒の体力調査の結果で平均を下回っているところで、学校ではそれについての対応が必要ではないかということと、校長先生に特に力を入れていただくというようなこととお話ししておりました。また、教育委員の方々も、各学校を訪問するときは、いろいろ見て回り、そして、寝ている生徒がいたならば、なぜ寝ている生徒がいるのだということ、見過ごさずに校長と協議、またその対応を話し合われてもいいのではないかとということをおっしゃっておりました。

8月28日(土)、「第31回府中市小学生バレーボールのつどい」に参加いたしました。昨年はインフルエンザのため中止だったのですけれども、今年は小学校が19校、約450名の生徒の参加がございました。総合体育館の中は本当に蒸し風呂の状態ですごく暑かったですけれども、生徒たちは元気いっぱいバレーボールに取り組んで、一生懸命やっておりました。また、各学校の校長先生はじめ諸先生方が応援に来ておられまして、一生懸命応援している姿は、先生方も暑い中大変だったのではないかなと思われました。また、運営なさっている教育団体の方々、審判の方々も一生懸命生徒たちを応援して見守っておりました。

以上です。

○委員(糸満純一郎君) 糸満から何点か報告をさせていただきます。

初めに、8月20日(金)、平成25年に開催予定の多摩国体、正式名は、先ほど始まる前にご担当に確認いたしました「第68回国民体育大会及び第13回全国障害者スポーツ大会」、これの府中市の実行委員会の設立総会、そして第1回の定期総会に、設立発起人である久芳委員長ともども参加をさせていただきました。私も監事というお役をいただいたところでございますが、近づきましたら、教育委員会としても勉強しながら進めていくことも多くなるかと思いますので、ご報告をさせていただきます。

8月22日(日)、四谷小学校の校庭、第八中学校も少し使ったのですが、総合防災訓練がございました。当日は大変な炎天下の中で、係員も倒れてしまわないかと心配するほどの暑さでしたけれども、整然とした中で訓練が行われておりました。

8月29日(日)、一週間後ですけれども、先ほどご報告がございましたが、市民体育大会夏季大会、水泳大会がございました。以前、私、生涯学習部におりましたころも参加してはいたのですが、その当時に比べると、少し選手が少ないのかなというような印象も持ちましたけれども、それぞれ元気よく競技に参加をしておりました。

8月30日(月)から現在も開催中ですが、第3回府中市議会定例会が開催されました。8月31日と9月1日は一般質問が行われております。この詳細の報告は、次回の教育委員会で各部長さんからご報告をいただけるものと思います。

9月3日に文教委員会が開催されまして、その中で、教育委員会の点検評価のご報告をさせていただきます。

9月7日が定例校長会、そして本日9月9日に定例副校長会がございまして、先ほど崎山先生のほうからちょっと熱中症対策のお話が出ましたので、私もちょっとふれさせていただきますが、この校長会、副校長会で私のほうから猛暑対策等のお話を少しふれさせていただきました。その中で、学校側の工夫の中で、子どもたちの健康に十分留意してくださいというお話をさせていただきます。中学校の制服がある学校では、体操着で授業してもいいよというような指導をしたというご報告もいただいております。

それからまた、この話の中で、現在は、市教委としては、学校耐震化を最優先課題として取り組んでいるということで、相当の予算がかかっておりますので、学校の空調については、耐震化が終わった後ということで、少し先になってしまうというお話とともに、とはいえ、これだけの猛暑、これが今年限りの特異現象であればともかく、また来年度以降も続く可能性も十分にありますので、何とか耐震化はやらせていただいていますけれども、特別教室なりどこか逃げ場所という形の中で、何箇所かでも先に前倒しで空調設備を付けさせてもらえないかという予算要望を、これからしっかり財政当局の理解を得て予算折衝していきたいというお話もさせていただきますところでございます。

それから、先ほど話が出ましたのでちょっとご報告ですが、第四小学校の「ハーモニーブリーズ」というお話が出ましたので。今日、NHKの夕方6時からの『首都圏ネットワーク』で第四小学校の「ハーモニーブリーズ」が9分間ほど取り上げられるということでございますので、もしお時間があれば見ていただければと思います。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） 久芳から1点ご報告いたします。

先ほど教育長よりご報告ございましたけれども、8月20日（金）グリーンプラザで、「スポーツ祭2013府中市実行委員会」の設立総会と第1回定期総会に出席いたしました。昨年はかなり遅い時期だったと思いますが、市長を代表とする6人の設立発起人会がございまして、その1人として設立の趣意につきましてご説明させていただきました。府中で開催される競技は3競技ございまして、サッカーと、卓球と、軟式野球ということでございます。

平成25年の開催ですから、本年が22年で3年前の現在なのですが、こういう大きな大会というのは、本当に多くの人々の努力と長い年月がかかるのだなと。発起人会のときでしたか、いただいた資料を見ますと、平成元年に既に東京都の市長会とか町村会が知事に東京多摩国体の誘致について要望書を提出しているのですね。ですから、四半世紀前にもう提出していて、そして平成12年に都議会で第68回国民体育大会、「多摩・島しょの地域振興にかかわる」という前振りがありますが、その国民体育大会の招致を決定していて、そして平成13年4月に都の教育委員会で第68回東京国体の招致を決議したと。そして、その翌年の14年に、都の教育庁に東京国体検討委員会が設置された。その前の13年に、日体協の理事会において「第68回国民体育大会、夏・秋の大会開催の申請書提出の順序を了解」と、ちょっとこれ、文章的によくわからないのですが、内々諾ということなのだと思うのですね。ですから、最初に提出したのが元年で、大体内々に決まったのが13年後で、そしてさらに12年後の25年に開催という、本当に息の長い、開催までにかかる年月と、これにかかわった人々がいるのではないかなということ、改めて本当に大変なことだなということを感じて持った次第でございます。

私からは今回は以上でございます。

教育委員報告の後に学務保健課より報告が1件追加ございますが、どうぞお願いします。

○学務保健課長補佐（中村孝一君） 先ほど、日光林間学校の実施状況の中で、家庭の事情の4件について調べましたので、ここで回答させていただきたいと思います。

まずは、海外旅行。あと、塾があるので行かない。あとは、子どもが虫が嫌いなので、親の判断で行かせない。あと、子どもが若干不登校ぎみなので、親のほうで判断して今回は行かせない。以上4件で、経済的な理由という形ではございませんでした。以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） いろいろですね。なるほど。早速調べていただきましてありがとうございました。

それでは、これもちまして平成22年第9回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。



午後2時35分閉会